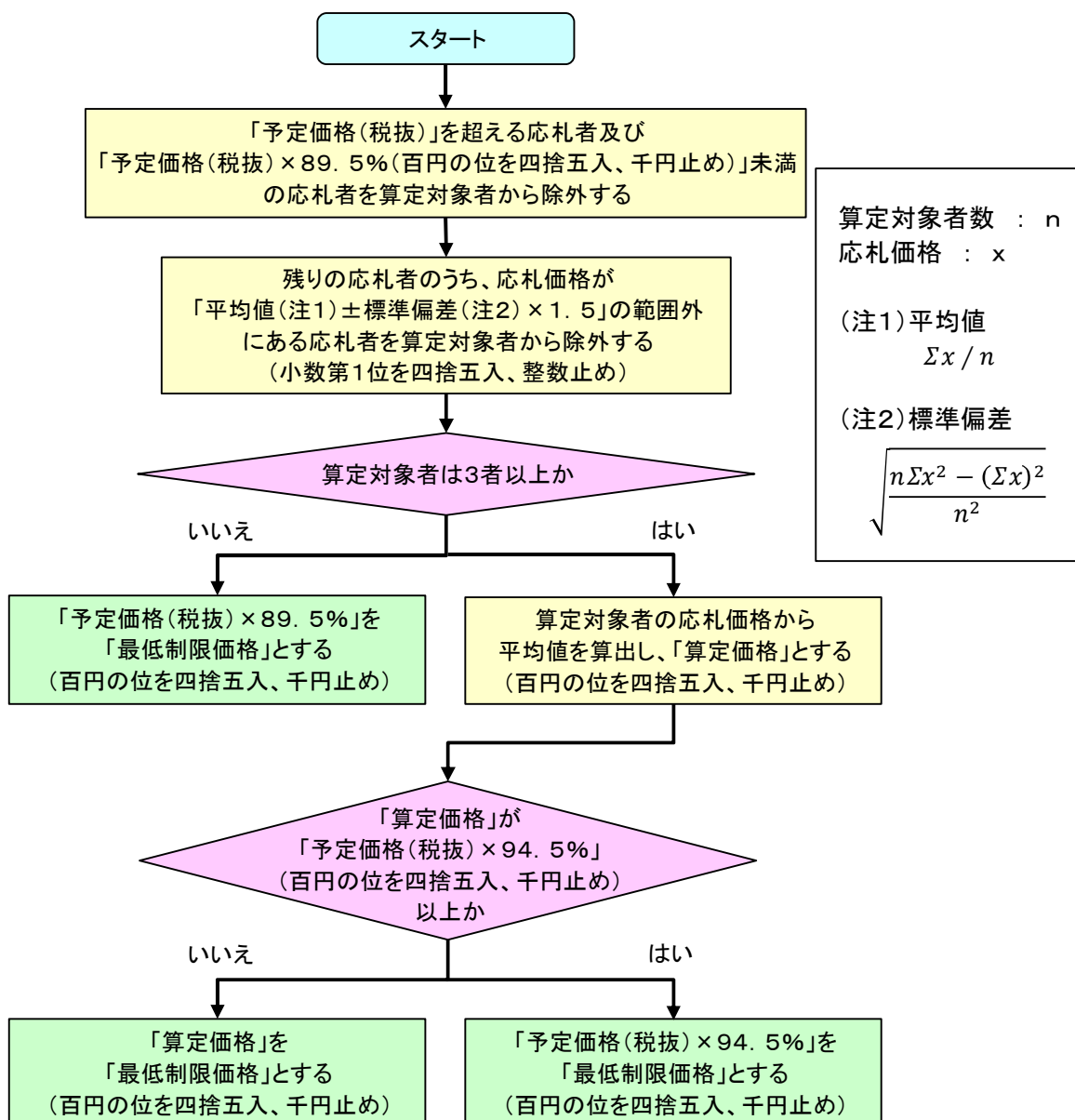


上田市建設工事入札における最低制限価格の算定フロー

適用対象 : 130万円超の建設工事（一般競争入札又は指名競争入札）
 適用開始 : 令和5年4月1日以降の入札公告又は指名通知から適用

手順	内 容
1	予定価格（税抜）を超える応札者及び予定価格（税抜）の89.5%未満の応札者を算定対象者から除外する。
2	手順1で除外した残りの応札者の平均値±（標準偏差×1.5）の範囲外にある応札者を算定対象者から除外する。
3	最低制限価格を算定する。 (1) 算定対象者が3者未満の場合 予定価格（税抜）の89.5% (2) 算定対象者が3者以上の場合 算定対象者の平均価格 ただし、予定価格（税抜）の94.5%を上限とする。



最低制限価格の算定例

予定価格（税抜）

10,000,000 円

予定価格（税抜）× 89.5%

8,950,000 円（百円の位を四捨五入、千円止め）

【例 1】算定対象者が 3 者未満の事例

応札者	応札価格 (円)
A 者	9,000,000
B 者	9,300,000

⇒

項目	算定式	価格（円）
最低制限価格	「予定価格（税抜）× 89.5%」を採用	8,950,000
入札結果	落札者	A 者
	落札金額	9,000,000

【例 2】算定対象者が 3 者以上で、算定価格が最低制限価格の上限未満になった事例

応札者	応札価格 (円)	第一 判定	第二 判定
A 者	8,900,000	失格	
B 者	9,000,000	①	失格
C 者	9,100,000	②	失格
D 者	9,300,000	③	落札
E 者	9,400,000	④	
F 者	9,900,000	⑤	
G 者	11,000,000	失格	

⇒

項目	算定式	価格（円）
平均値 $\Sigma x / n$	(①+②+③+④+⑤) ÷ 5 (小数第 1 位を四捨五入、整数止め)	9,340,000
標準偏差 $\sqrt{\frac{n \Sigma x^2 - (\Sigma x)^2}{n^2}}$	n = 5、x = 応札価格 Excel関数 (STDEV. P) を利用 STDEV. P (①, ②, ③, ④, ⑤) (小数第 1 位を四捨五入、整数止め)	313,688
採用範囲（上限）	平均値 + 標準偏差 × 1.5	9,810,532
採用範囲（下限）	平均値 - 標準偏差 × 1.5	8,869,468
算定価格	算定対象者の平均値 (①+②+③+④) ÷ 4	9,200,000
最低制限価格（上限）	予定価格（税抜）× 94.5%	9,450,000
最低制限価格	算定価格が上限未満	9,200,000
入札結果	落札者	D 者
	落札金額	9,300,000

【例 3】算定対象者が 3 者以上で、算定価格が最低制限価格の上限以上になった事例

応札者	応札価格 (円)	第一 判定	第二 判定
A 者	8,950,000	①	失格
B 者	9,200,000	②	失格
C 者	9,300,000	③	失格
D 者	9,400,000	④	失格
E 者	9,500,000	⑤	落札
F 者	9,850,000	⑥	
G 者	9,900,000	⑦	

⇒

項目	算定式	価格（円）
平均値 $\Sigma x / n$	(①+②+③+④+⑤+⑥+⑦) ÷ 7 (小数第 1 位を四捨五入、整数止め)	9,442,857
標準偏差 $\sqrt{\frac{n \Sigma x^2 - (\Sigma x)^2}{n^2}}$	n = 7、x = 応札価格 Excel関数 (STDEV. P) を利用 STDEV. P (①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦) (小数第 1 位を四捨五入、整数止め)	316,711
採用範囲（上限）	平均値 + 標準偏差 × 1.5	9,917,924
採用範囲（下限）	平均値 - 標準偏差 × 1.5	8,967,791
算定価格	算定対象者の平均値 (②+③+④+⑤+⑥+⑦) ÷ 6	9,525,000
最低制限価格（上限）	予定価格（税抜）× 94.5%	9,450,000
最低制限価格	算定価格が上限以上	9,450,000
入札結果	落札者	E 者
	落札金額	9,500,000